認知症医療介護の動向を踏まえた、多職種連携フォーラム 「認知症でも地域で穏やかに暮らすために」

開催趣旨

平成24年6月18日、厚生労働省認知症施策検討プロジェクトチームは、世界に類をみない長寿国である日本で、高齢者が認知症になっても、尊厳をもって質の高い生活を送ることは、私たちの共通の望みであることから、かつて、私たちは認知症を何も分からなくなる病気と考え、徘徊や大声を出すなどの症状だけに目を向け、認知症の人の訴えを理解しようとするどころか、多くの場合、認知症の人を疎んじたり、拘束するなど、不当な扱いをしてきた。今後の認知症施策を進めるに当たっては、常に、これまで認知症の人々が置かれてきた歴史を振り返り、認知症を正しく理解し、よりよいケアと医療が提供できるように努めなければならないと、旧来の認知症医療を厳しく総括し、関係者へのヒアリング等を行い、過去10年間の認知症施策を再検証した上で、今後目指すべき基本目標とその実現のための認知症施策の方向性を発表した。

このなかで、地域で医療介護ケアの恩恵から外れている、認知症患者と家族に関し、早期発見チームを立ち上げることが決まり、本年度からモデル事業が始まった。本フォーラムでは、実際の現場で何が問題でサービスが不十分な状態に置かれているのか、何が困っているのか、何がわからないか、どうしていいかわからないことはどのような状態か、など講義では解決できない問題について、多職種の認知症エキスパートがお答えする

パネル:「認知症なんでも相談室」を開催します。 パネルに先立って、「認知症の治療とケア最新の動向」の 基調講演を企画しました。 認知症医療介護の動向を踏まえた、多職種連携フォーラム(案) 「認知症でも地域で穏やかに暮らすために」

開催日時 平成26年2月23日(日曜日) 9時~16時

開催場所 今池ガスビル ホール

開場 9時

事前質問受付 9時30分~12時

開会挨拶 10時~

国立長寿医療研究センター総長 大島伸ー 杉浦地域振興財団理事長 杉浦昭子

来賓挨拶

日本医師会 三上 裕

基調講演 Ⅰ 10時20分~11時

座長 東京都健康長寿医療センター理事長 松下正明

認知症と共に歩む

日本認知症ケア学 理事長 本間 昭

基調講演 Ⅱ 11時20分~12時

座長 日本認知症学 理事長 森 啓

多職種協働による認知症に強い街づくり

敦賀温泉病 院長 玉井 顕

ランチョンセミナー 12時~13時

座長 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター 遠藤英俊

一般社団法人日本老年精神医学会 理事長 新井 平伊

認知症なんでも相談室 13時~15時

パネラーと参加者による自由な質疑

コーディネーター 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター 鳥羽 研二 日本老年看護学会 百瀬 由美子

パネラー

認知症の人と家族の会 代表理事 高見 国生

認知症ケースワーカー、認知症認定看護師

国立長寿医療研究センターもの忘れセンター 鷲見 幸彦

閉会挨拶

国立長寿医療研究センター総長大島伸一

「認知症医療介護の動向を踏まえた、多職種連携フォーラム」について

第1回

【日程】平成 26 年 2 月 23 日(日)

【会場】今池ガスビル ホール http://www.gasbldg.net/hall/imaike/imaike_hall.html



地下鉄ご利用の場合

東山線 「今池」駅下車 10番出口に直結 桜通線 「今池」駅下車 10番出口に直結

JRご利用の場合

JR中央本線 「千種」駅より東へ徒歩約10分

名古屋駅からのアクセス

地下鉄 東山線藤が丘行きに乗車10分 「今池」駅下車 徒歩0分

中部国際空港セントレアからのアクセス

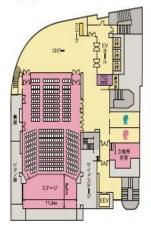
名鉄電車 名古屋駅まで最速28分

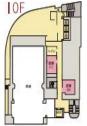
お車ご利用の場合

名古屋高速 吹上東出口 春岡インターからお越しいただくと便利です。

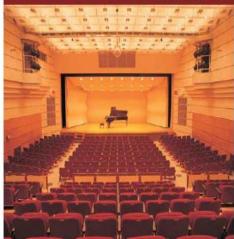
今池ガスビル







今池ガスホール



歴史を感じる重みのある空間。

大きな陶壁画とシャンデリアのあるロビーがお出 迎え、ホール内は歴史を感じられる重みのある空 間です。さまざまなコンサート、講演会や式典に使 用されています。

イベント・コンサート形式 #7# 356名

■ 車種/449m*(ホール242m*-ロビー207m*) ■数值/例明、音響、映写数值 ■舞台/間口11,4m、美行6,4m、天卉高4,5m 回車椅子対応可

7F

C会議室



D会議室







口の字形式 12名



フォーラム会場: 今池ガスホール、 控室等:主催者控室、控室(1)(2)、C·D 会議室

今後の進め方

● 主催者等

【主催】独立行政法人国立長寿医療研究センター認知症医療介護推進会議 【共催】杉浦地域振興財団

【後援】認知症医療介護推進会議委員所属団体

敬称略

● 予算

独立行政法人国立長寿医療研究センター 認知症医療介護推進会議 杉浦地域振興財団より寄付

● プログラム委員

- 1. 毎年持ち回り制
- 2. H25 年度(案) 五十音順 敬称略

【学 会】一般社団法人日本認知症ケア学会、一般社団法人日本老年医学会、 一般社団法人日本老年精神医学会、日本認知症学会

【職能団体】公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本薬剤師会

【事務局等】杉浦地域振興財団、独立行政法人国立長寿医療研究センター

3. プログラム委員会日程(案)

第1回: 平成 25 年9月~10月頃 於:(独)国立長寿医療研究センター 第2回: 平成 25 年12月~平成 26 年1月頃

- 4. プログラムの準備
 - ◆ 基調講演演者、ランチョンセミナー演者、パネルディスカッションパネラー※ 事前に資料のご提出:要旨、Key スライドを併せて 5 頁 20 枚程度
 - ♦ 他
- 5. 他

● プログラム案 (別紙)

【開会挨拶】

【基調講演】2 演題

【ランチョンセミナー】

♦ 担当製薬会社は持ち回り制

【認知症なんでも相談室】

【閉会挨拶】

- ビデオ撮影と DVD 化
- 後援名義

パンフレット・ポスター・テキスト類への、認知症医療介護推進会議(各団体名)後援名義

● 広告

中日新聞社

● 広報



老年学・社会科学研究センター 在宅医療開発研究部 在宅医療推進課へリンク





開催案内を掲載

□申し込みフォームヘリンク

杉浦地域振興財団 HP等

| | 部会、公益社団法人は10回の人と実践の会、社団法人日本行業権社士会 中・神経民衆研究(シケー 日本政和成学会、日本名年職体学会、 利加者 (五十百種等) |
|-----|---|
| ZFR | /241 |
| | 「認知症医療介護の動踏まえた、多職種連携フォーラム」 |
| | 参加申し込みフォーム |
| | |
| | ■ お名前 |
| | |
| | ■ 参加人数 |
| | ■ 職種 ○医師 ○歯科医師 ○薬剤師 ○看護師等 ○介護士等 |
| | ○リハビリテーション職 ○栄養士 ○・・・・・・ |
| | ○家族 ○他() |
| | ■ このフォーラムをお知りになったきっかけ |
| | |
| | - パカリ デュー・コー・アー・マン 明ネにおけたい 本京 (デカカにデュー・ノン・ナン |
| | ■ パネルディスカッションでお聞きになりたい内容(ご自由にご入力ください) |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | OK クリック |
| | ありがとうございました |

事前質問記入用紙

❖ お聞きになりたい演者など

❖ お聞きになりたいことなど

❖ お名前(よろしければご記入ください)

ご協力ありがとうございました

質問用紙の~~箱に入れていただくか、係りの者にお渡しください

開催案内

認知症医療介護の動向を踏まえた、 多職種連携フォーラム 「認知症でも地域で穏やかに 暮らすために」

【日時】 平成26年2月23日(日) 9:00~16:00

【場所】今池ガスビル ホール

【内容】(案)



- ■基調講演
 - I 認知症と共に歩む
 - Ⅱ 多職種協働による認知症に強い街づくり
- ランチョンセミナー

■ 認知症なんでも相談室

現場で何が問題? 何に困っているの? 何がわからないの?

お問い合わせ先:(独)国立長寿医療研究センター 認知症医療介護推進会議

http://www.ncgg.go.jp/cgss/ninchi.htm

お申し込み先:杉浦地域振興財団ヘリンク

例)http://www.○×◎△.…jp/ninchishou-forum//html

主催:独立行政法人国立長寿医療研究センター認知症医療介護推進会議 共催:杉浦地域振興財団

後援:一般社団法人日本介護支援専門員協会、一般社団法人日本認知症ケア学会、一般社団法人日本慢性期医療協会 一般社団法人日本老年医学会、一般社団法人日本老年精神医学会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会 公益社団法人全国老人保健施設協会、公益社団法人全日本病院協会、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会 公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本精神科病院協会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 日本認知症学会 日本老年看護学会 有識者(五十音順等